

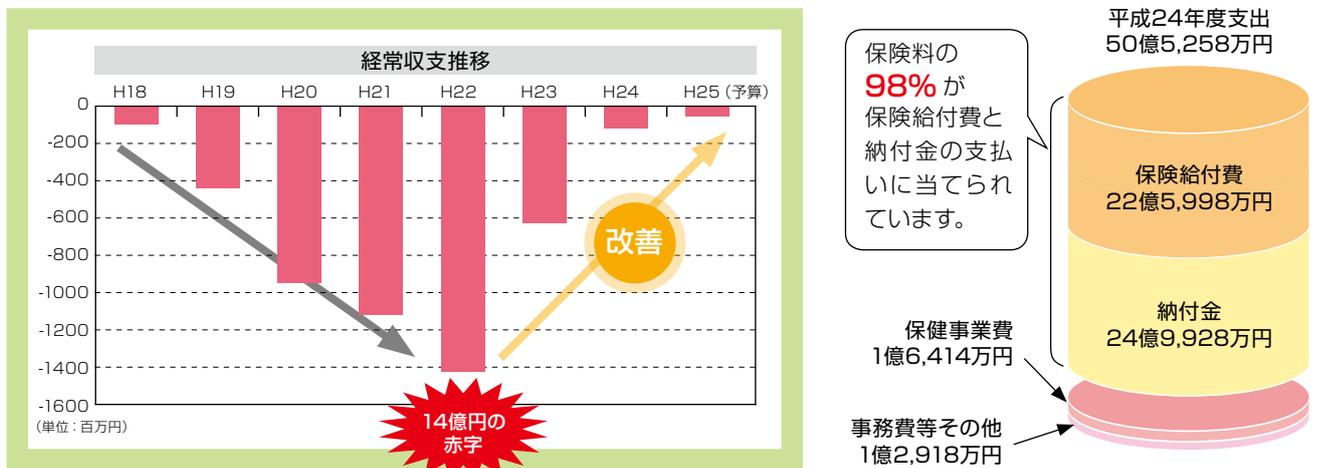
特集Ⅰ

財政健全化に向けた健保の取り組み ～社員と家族の皆さんの健康を高めるために～

日本では他国に類をみない高齢化社会を迎え、また医療の高度化により医療費は膨張の一途を辿っています。この増え続ける医療費の抑制に向けて、各企業で設立された健康保険組合の役割がますます重要になってきています。ワールド健康保険組合の今までとこれからの取り組みについて、一人でも多くの方に理解を深めて頂くとともに、健康に対する意識を高めて頂きたいと思っています。

1. 健康保険組合の現状

ワールド健康保険組合は事業所（会社）と社員の皆さんから報酬に合わせて折半で保険料を納めていただき、その収入から病気、けが、出産などのとき、必要な医療費や手当金を保険給付費として支払っています。また、高齢者医療費の支援として国に納付金を支払っており、平成24年度決算では、保険料収入の約98%を保険給付費と納付金が占めています。平成20年度に導入された高齢者医療制度で、納付金が大幅に増加したことにより健保財政が窮迫したため、やむなく保険料率の引き上げを行うとともに、付加給付の廃止、保健事業のスクラップ&ビルド等を行った結果、現状は下のグラフのように収支は大きく改善傾向にあります。

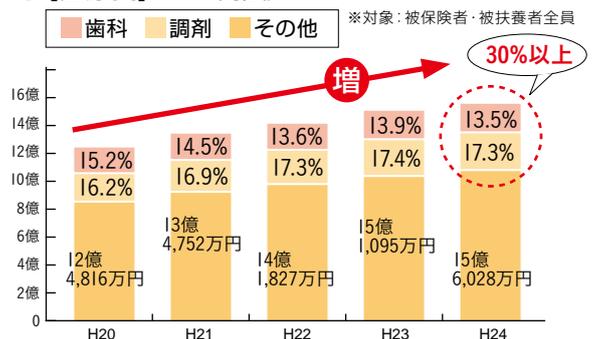


2. 増え続ける健康保険組合の支出

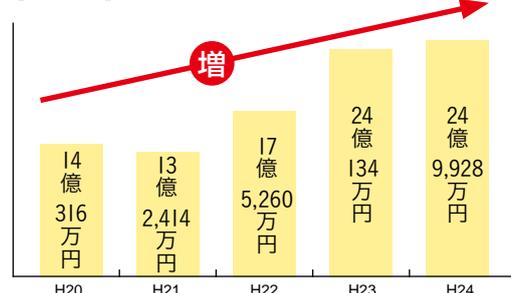
経常収支は改善しても、保険給付費は増加しており、特に医療費<グラフ①>で歯科と調剤とで30%以上を占めており、この改善も急務を要します。特に歯科はセルフケアでの予防が可能なことから、「健口（けんこう）ワールド」を推進しています。また、納付金<グラフ②>も増加し、平成20年度比1.8倍になっています。健康保険組合の事業を継続する（収支バランスを保つ）ためには、保険給付費と納付金（前期高齢者納付金）を抑えていく事がポイントになります。

- ◆保険給付費：病院にかかった時などの【医療費】<被保険者3割：健保7割負担（一部異なる場合あり）>と病気・ケガ・出産などの時給付される【傷病手当金・出産手当金など】があります。
- ◆納付金等：高齢者（65歳以上）の医療費を支えるために、健保が国に収める拠出金。この拠出金のため、多くの健保組合が赤字になっています。
- ◆保健事業費：健保組合が独自に行うガン検診や健康づくり事業（健口ワールド等）に使われています。

●【医療費】5カ年推移 <グラフ①>



●【納付金】等5カ年推移 <グラフ②>



3. 支出抑制のための取り組み

医療費対策

疾病予防による医療費削減

ガン検診事業

～受診勧奨と事後措置勧奨～

特定健診・特定保健指導

～保健指導と生活改善のサポート～

ハイリスク疾病管理

～生活習慣病重症化予防～

ジェネリック切替通知

～調剤費削減～



納付金対策

前期高齢者事業

～訪問・電話支援等～



健口（けんこう）ワールド

～歯の健康づくりへの

取り組み～



ウォーキングフェスタ

～運動習慣のきっかけづくり～

その他

扶養調査

～扶養認定者の確認の徹底～

傷病手当金の内容照会

～診療根拠等の確認～

柔道整復療養費の照会

～負傷原因等の確認～

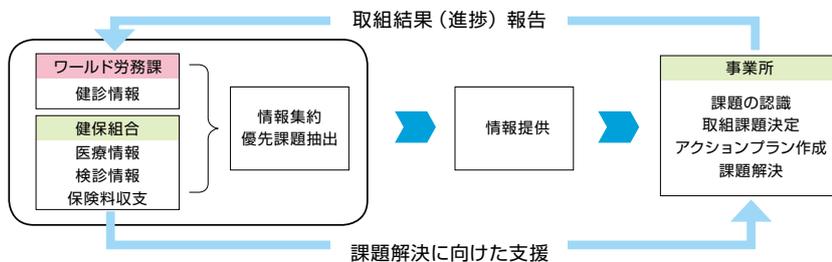


4. 支出抑制のためのワールドグループ全体での取り組み <今年度(平成25年)新規取り組み>

社員と家族の皆さんの健康は健康保険組合だけでなく、事業所（会社）の経営にも大きく寄与します。健康保険組合と事業所はいっそう連携を強化し、ワールドグループ全体で健康課題に取り組みます。健康保険組合とワールド労務課から事業所ごとに健康課題や情報提供を行い、各事業所では課題を認識いただき、課題解決のアクションプランを作成し、健康づくりに取り組んでいただいています。

◆事業所（会社）ごとに医療費の状況を分析し、課題を明確にするとともに、事業主と情報を共有化し、課題に応じた保健事業に取り組みます。

取り組み課題は (1) 安全衛生 (2) 歯の健康 (3) メタボ (4) ガン検診 (5) メンタルヘルス (6) 女性の健康 (7) 喫煙対策



5. 財政健全化に向けた更なる一手 <来年度(平成26年)新規>

支出抑制に向けて、より効果のある医療費分析の実施

日本再興戦略（平成25年6月14日閣議決定）や健康・医療戦略で掲げられた「国民の健康寿命が延伸する社会」をつくるため、国が推進する予防・健康管理の新しい取り組みのひとつとして、健康保険組合では、レセプト・健診情報等を活用したデータ分析に基づき、加入者の健康保持増進のための効果的な保健事業（データヘルス）を展開する取り組みが求められています。

健康保険組合は、平成26年度からこの事業計画として「データヘルス計画」を作成・公表し、事業をスタートしていきます。データヘルス計画の特徴として、**事業主との協働（コラボヘルス）**が挙げられており、ワールドグループ全体で健康の保持増進に取り組めます。



皆さん1人1人が健康意識を高めていただき、健康でイキイキと働き続けることができるよう健康保険組合は皆さんの健康をサポートします。